

教科	技術・家庭(家庭分野)	学年	第3学年
----	-------------	----	------

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
A家庭生活 2. 幼児の生活と家族	3	○幼児期への関心をもつ。 ○幼児の身体の発育について、発達の方角性や順序性ととも、個人差があることを理解する。 ○幼児の言語・認知・情緒・社会性等の発達について理解する。 ○子どもが育つ環境としての家族や周囲のおとなの役割について理解する。 ○自分の実践的・体験的な活動を通して、幼児にとっての遊びの意義を理解する。 ○幼児にとって遊びは生活そのものであり、十分な遊びを経験できる環境が重要であることを理解する。	・幼児の身体の発達の特徴について理解している。 ・幼児の心の発達の特徴について理解している。 ・子どもが育つ環境としての家族の役割について理解している・幼児にとっての遊びの意義について理解している。	・幼児との関わり方について問題を見いだして課題を設定している。 ・幼児との関わり方について解決策を構想している。 ・幼児との関わり方について解決策を構想し、考察したことを論理的に表現している。	・幼児との関わり方について、課題の解決に主体的に取り組もうとしている。 ・幼児との関わり方について、課題解決に向けた一連の活動をふり返って改善しようとしている。 ・よりよい生活のために、幼児との関わり方について、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。
生活の課題と実践	5	○幼児のおもちゃをつくる	・幼児が使うものとして安全面の配慮をした作品づくりができています。	・幼児の性質を理解して、年齢にあった作品を設定している。	
A家庭生活 3. 幼児とのかかわり	2	○幼児とのふれ合い体験について自分の課題をもち、ふれ合うときの留意点を理解する。 ○幼児とのかかわり方について身につけた基礎的・基本的な知識を活用し工夫してふれ合う。 ○幼児とのかかわり方について、感じたことや考えたことを話し合い、幼児への理解を深める。 ○子どもの成長と地域のつながりについて知り、地域の中で、中学生ができることを考える。	・幼児との関わり方について理解している。 ・子どもが育つ環境としての家族の役割について理解している。 ・家庭生活は地域との相互の関わりで成り立っていることを理解している。	・幼児との関わり方について問題を見いだして課題を設定している。 ・幼児との関わり方について解決策を構想している。 ・幼児との関わり方について解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現している。	・幼児との関わり方について、課題の解決に主体的に取り組もうとしている。 ・幼児との関わり方について、課題解決に向けた一連の活動をふり返って改善しようとしている。 ・よりよい生活のために、幼児との関わり方について、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。
A家庭生活 4. 家庭生活と地域のかかわり	2	○家庭生活は、地域との相互のかかわりで成り立っていることを理解する。 ○地域で多様な人びとが暮らせるための工夫を理解する。 ○地域で活動する高齢者や、見守りが必要な高齢者などさまざまな高齢者がいることを理解する。 ○地域で活動する高齢者や見守りが必要な高齢者とのかかわり方を考える。	・家庭生活は地域との相互の関わりで成り立っていることを理解している。 ・高齢者など地域の人びとと協働する必要があることについて理解している。 ・介護など高齢者との関わり方について理解している。 ・介護など高齢者との関わり方について理解している。	・地域の人びとと関わり、協働する方法について問題を見いだして課題を設定している。 ・高齢者と関わる方法について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想している。 ・高齢者と関わる方法について実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現している。	・家族や地域の人びとと協働し、よりよい生活の実現に向けて、家族・家庭や地域との関わりについて、課題の解決に主体的に取り組もうとしている。 ・高齢者との関わり方について、課題の解決に主体的に取り組む、課題解決に向けた一連の活動を振り返って改善しようとしている。 ・家族や地域の人びとと協働し、よりよい生活の実現に向けて、家族・地域との関わりについて工夫し創造し、実践しようとしている。
A家庭生活 5. 持続可能な家庭生活	1	○誰もが尊重される家庭・地域の生活をめざして、課題をみつけ、実践的に取り組む。		・社会や環境に配慮した家庭・保育・地域などの生活について問題を見いだして課題を設定している。 ・社会や環境に配慮した生活について考え、工夫している。	・持続可能な社会を目指して、家庭・保育・地域などについて、工夫し創造し、実践しようとしている。 ・自立した消費者として、社会や環境について、課題の解決に主体的に取り組む、工夫し創造し、実践しようとしている。
C家庭生活 2. 購入・支払いと生活情報	1	○店舗販売と無店舗販売の特徴がわかる。 ○売買契約について問題発生の原因や予防方法を含め、理解する。 ○即時払い、前払い、後払いの特徴を理解し、利点と問題点を理解する。 ○生活情報の収集や活用のかたを理解し、目的に合った商品を選ぶことができる。	・購入方法や支払い方法の特徴が分かり、計画的な金銭管理の必要性について理解している。 ・売買契約の仕組みについて理解している。 ・支払い方法の特徴が分かり、計画的な金銭管理の必要性について理解している。 ・物資・サービスの選択に必要な情報の収集・整理が適切にできる。	・物資・サービスの購入について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想している。 ・物資・サービスの購入について、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなどしている。	・計画的な金銭管理について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。
C家庭生活 3. 消費者被害と消費者の自立	2	○消費者の権利と責任について理解し、自立した消費者をめざす。	・消費者被害の背景とその対応について理解している。 ・消費者の基本的な権利と責任について理解している。	・自立した消費者としての消費行動について問題を見いだして課題を設定している。 ・自立した消費者としての消費行動について、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなどしている。	・消費者被害の対応について、課題の解決に主体的に取り組む、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。 ・よりよい生活の実現に向けて、消費者の権利と責任について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。
C家庭生活 4. 持続可能な社会	1.5	○持続可能な生活にするために、自分たちができることを考える。	・自分や家族の消費生活が環境や社会に及ぼす影響について理解している。	・自立した消費者としての消費行動について問題を見いだして課題を設定している。 ・自立した消費者としての消費行動について、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなどしている。	・よりよい生活の実現に向けて、社会や環境について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。